



第7章



地域別構想

1. 地域区分の設定
2. 地域別構想



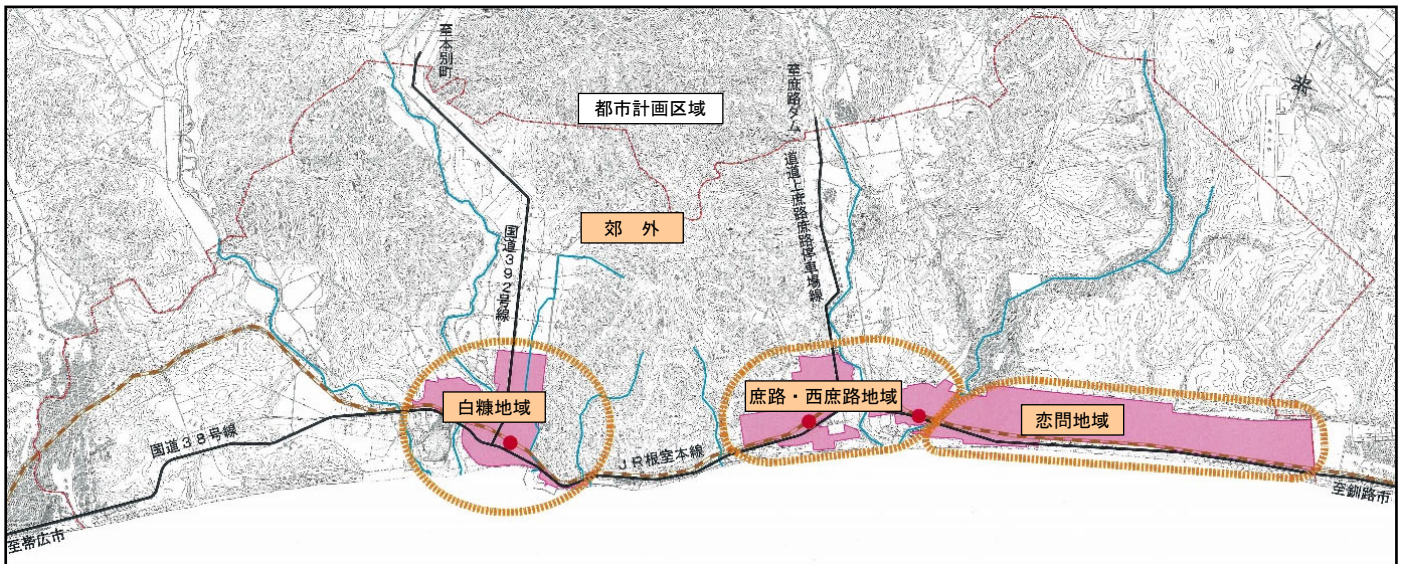
7 地域別構想

1 地域区分の設定

本町は「白糠市街地」「庶路市街地」「西庶路市街地」「恋問」「森林」及び「沿岸」によって構成されていることから、これらの地域について都市計画マスタープランの基本目標『各拠点が機能を発揮出来るまちづくり』『誰もが安全、安心して暮らせる災害に強いまちづくり』『豊かな自然と農漁村、都市が共生するまちづくり』『住民や地域と共に創るまちづくり』を受けて、用途地域内の都市計画に関わるまちづくりの将来像を設定します。

地域区分の設定は、「国道や河川などによる地域の分断要素による区分」「地域としての一体性やまとまりなどを考慮した区分」「住民等へのわかりやすさを考慮した区分」をもとに、「白糠市街地」を「白糠地域」、「庶路市街地」と「西庶路市街地」を合わせて「庶路・西庶路地域」、「恋問・釧路白糠工業団地」を「恋問地域」とし、この3地域について地域別構想を設定します。

また、市街地外の「郊外」については、基本的には市街化の抑制を図り、農地・林地として保全に努めるほか、河川周辺などの豊かであるおいのある自然環境については、保全に努め、開発計画等に際しては、必要な調整を行ない、適切な土地利用を図ります。



2 地域別構想

2-1. 白糠地域

白糠地域は、茶路川を挟み東側の白糠市街地地区と西側の橋北地区で構成されます。白糠市街地地区のJR白糠駅周辺は、本町の中心市街地として、個性的な商店街が形成されているほか、白糠町役場等の公共施設が集積しています。また、橋北地区は、中学校、高校等が立地し、周辺は住宅地となっています。本地域には用途地域が指定された地区が2つあり、白糠中学校、白糠高等学校がある橋北地区と、白糠町役場など公共公益施設が集積されている白糠市街地地区です。

(1) 白糠地域の現状と課題

- 白糠市街地地区の白糠駅周辺の中心商業地は、空き店舗や空地の増加がみられるなど、商店街のにぎわいが失われつつあり、景観面・防災面等でも課題となっています。
- 中心商業地の中核である白糠南通り商店街「ハミングロード」では、毎年9月に2日間歩行者天国にして開催される本町の一大イベント「カミングパラダイス」が行われており、イベント時には多くの人でにぎわいます。
- 白糠市街地地区の鉄道以北は、良好な住環境を有する住宅地として土地利用が図られていますが、工業地等については未利用地が存在しています。
- 橋北地区は、中学・高校が立地するなど本町の文教地区となっており、周辺は住宅地としての良好な住環境を有していますが、未利用地も多く存在しています。
- 既存道路網により地区内の生活交通は確保されている状況にありますが、都市計画道路の整備率が低く、より安全かつ円滑な交通を確保するため、社会情勢を踏まえながら、都市計画道路の整備等を検討していくことが望まれます。
- 白糠市街地地区は、小学校のほか公共施設が立地しており、児童や高齢者等の安全な歩行環境の維持・確保に努める必要があります。
- 市街地内の公園は、市街地内にバランスよく配置されていますが、長寿命化計画に基づき計画的な施設の改修等を推進していく必要があります。
- 白糠市街地地区の東側には、森林レクリエーションの場として利用されている岬の森東山公園があり、展望広場は、白糠市街と太平洋を一望できる眺望スポットとしても人気があります。
- 市街地全域が津波浸水想定区域にあり、防災対策の推進とともに、岬の森東山公園については、避難路を含め安全な避難場所としての機能の維持・確保に努める必要があります。

(2) 白糠地域の基本方針

白糠駅周辺の中心市街地は、商業施設や公共施設が立地していますが、人口減少や高齢化、商業施設の顧客吸引力の低下等により、空き店舗や空地が増加していることから、「街の顔」としてのにぎわいを呼び戻すため、まちなか居住やバリアフリー化、景観形成などの施策の検討を行い、うるおいとにぎわいに溢れた魅力ある中心市街地の形成を目指すとともに、地域の活性化を図ります。

住宅地については、教育環境をはじめ公共サービス等の利便性が高く、かつ自然と調和した良好な住環境の維持に努めます。

未利用地については、土地利用の見直しや有効活用の検討を行い、良好な住宅地の形成をはじめ、適切な土地利用の推進を図ります。

(3) 白糠地域の将来像

将来像を

『街のにぎわいと自然環境が調和した住みよいまち』

と設定し、魅力ある中心市街地と、安全で快適な教育環境、豊かな自然が調和した、良好な住環境を創出するまちづくりの推進を目指します。

(4) 白糠地域の整備方針

【土地利用】

- ・白糠駅周辺は、交通結節点としての特性を生かし、多様な都市機能の集積、土地利用の複合化を図ることにより、中心商業地としての魅力向上を目指します。
- ・また、中心市街地のにぎわいの創出やコンパクトなまちづくりに向けた取り組みとして、ハミングロードの魅力向上や、まちなか居住を推進します。
- ・白糠市街地区の鉄道以北は、自然と調和した良好な住宅地であることから、今後も現在の住環境を維持していきます。
- ・市街地内の未利用地については、社会情勢等を踏まえながら、用途の見直しを含め、適切かつ有効な土地利用について検討を進めます。
- ・国道沿線については、周辺住宅地の住環境に配慮しつつ、日常利便施設や沿道サービス施設等の集積による商業地の形成や地場産業の振興に資する流通業務地の形成を図ります。
- ・日の出地区の工業地については、周辺住環境に配慮した軽工業等の集積を図ります。

【交通】

- ・人口減少等の社会情勢の変化に対応したまちづくりや交通量等を勘案しながら、安全・円滑な交通を確保するため、都市計画道路の計画的・効率的な整備や見直しを進めます。
- ・白糠駅周辺は、広域的な交通結節点や防災拠点としての機能の強化を図るため、バスターミナル等の併設や、案内施設・休憩施設の整備や景観整備等を検討します。
- ・安全、快適な歩行空間を創出するため、主要な道路においては、歩道のバリアフリー化や緑化等の推進を図ります。
- ・通学・通院・買い物等の日常生活活動や災害時の避難活動において重要な生活道路の交通機能の維持・向上を図ります。

【公園緑地・上下水道等】

- ・環境保全、レクリエーション、景観形成などの各種機能の確保に配慮し、公園施設の維持・管理や、環境の維持に努めます。
- ・災害時の一時避難場所として指定されているものについては、周知徹底を図るとともに、避難所機能の維持に努めます。
- ・茶路川の河川空間や主要な道路空間等の緑を充実し、緑豊かで潤いのある水と緑のネットワークの形成に努めます。
- ・茶路川の河川改修を促進します。
- ・下水道に関しては、長寿命化計画等により整備を進め、一部の未整備エリアにおいては合併処理浄化槽の普及に努めます。
- ・上水道に関しては、配水管の整備を進めます。

【防災・公共公益施設等】

- ・津波災害や土砂災害をはじめ災害に対する防災対策を推進するとともに、公共・公益施設、公園等の更なる強靱化を目指し、避難場所としての機能の維持・向上に努めます。
- ・特に、岬の森東山公園や坂の丘公園をはじめ、津波災害時の避難場所については、避難路を含め機能の維持・確保に努めます。
- ・土砂災害の特別警戒区域である岬の森東山公園周辺等については、災害防止の観点から、市街化を抑制し緑化等を促進します。
- ・白糠町役場等の公共・公益施設は防災機能を高め、庶路支所・西庶路の各種施設との連携強化とともに、利便性の向上を目指します。
- ・公共施設をはじめ市街地整備においては、木質バイオマスや太陽光等の再生可能エネルギーの導入促進により低炭素社会の実現を目指します。

【ハミングロード】

- ・既存商店街を有効活用し、本町の顔として魅力と利便性を備えた商業地の形成を図ります。
- ・商店街活性化を目指し、商工会・商店街と連携して、空店舗・空地の有効活用などを検討します。
- ・子どもからお年寄りまで誰もが安心・安全に回遊できる歩行空間の形成に努めます。
- ・全国で初めて「広告景観優良地区」に指定された美しい洋風の街並みを維持するため、建築協定など自主的な活動を促します。

白糠地域まちづくり方針図



| | | | | | |
|----|---|--|--|--|--|
| 凡例 | <p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般住宅地 中心商業地 沿道商業地 一般工業地 流通業務地 | <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道 主要幹線道路 幹線道路 補助幹線道路 | <p>【公園・緑地等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路（整備済み） 同上（未整備） 近隣公園 街区公園 特殊公園 その他都市公園 主な河川 | <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波浸水想定区域 津波災害避難場所 <p>【公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な公共公益施設 | |
| | <p>■ 中心商業地としての魅力向上、回遊性の高い安全・快適な歩行空間の創出</p> | <p>■ 交通結節点機能の強化 ・バスターミナルの併設 ・駅周辺の環境整備（案内施設、景観整備等）</p> | <p>■ 自然環境の維持・保全と、眺望スポット・森林レクリエーションの場としての活用推進</p> | | |

2-2. 庶路・西庶路地域

本地域は、庶路川を挟み、東側の庶路地区と西側の西庶路地区で構成され、両地区ともに、住宅地を基本に一部工業地等としての土地利用が図られています。

(1) 庶路・西庶路地域の現状と課題

- 両地区ともに J R 駅が存在しており、J R 駅周辺をはじめ国道沿線の一部には商業業務施設等の立地がみられますが、庶路地区の商業地の衰退が進んでいます。
- 西庶路地区は、良好な住宅地が形成されており多くの一般住宅が建ち並んでいますが、庶路地区には未利用地が多く残されています。
- 西庶路地区の西側には軽工業団地があり、木材販売業、コンクリート製品製造業、太陽光発電所などが立地していますが、未利用地も存在しています。
- 西庶路地区の北部には、2018 年釧路管内初の 9 年制義務教育学校の白糠町立庶路学園が開校されています。
- 地域の交通骨格である道道上庶路庶路停車場線（3・4・8 下庶路通）は、鉄道と立体交差していますが、円滑性・安全性で課題があり、庶路小学校の跡地や庶路スポーツ公園敷地を活用した新たなルートに変更するなど、交通機能の向上を図ることが望まれます。
- 上記に伴い、沿道及び周辺の土地利用について、用途の見直し等の検討を行うことが必要となっています。
- 庶路中学校の跡地は、グラウンド等の既存施設を有効活用し、庶路スポーツ公園の代替機能を兼ねたスポーツ公園等の整備が望まれています。
- 市街地全域が津波浸水想定区域にあり、防災対策の推進とともに、高台に位置する避難場所及び避難路の機能の維持・確保に努める必要があります。

(2) 庶路・西庶路地域の基本方針

庶路地区、西庶路地区の市街地の大半は良好な住宅地であることから、今後も自然環境との調和を図りながら良好な居住環境を維持していきます。

また、未利用地については、社会情勢を踏まえながら、用途の見直しを含め検討を行い、適切かつ有効な土地利用の推進を図ります。

国道沿線は、飲食店やコンビニエンスストア等の沿道サービス施設の立地や土地利用の動向を見ながら必要に応じて用途地域の見直しや市街地整備などの検討を行い、自然景観などに配慮した市街地整備に努めます。

西庶路地区の軽工業団地は特別用途地区（特別工業地区）の指定がされており、今後とも良好な立地条件を活かした工業系の土地利用を維持していきます。

住居・工場が混在している地区は、住環境に配慮した土地利用を維持していきます。

(3) 庶路・西庶路地域の将来像

将来像を

『自然とのふれあいやスポーツを通じ、健康で生き活きと暮らせるまち』

と設定し、河川や森林等の自然とのふれあいや、スポーツ・レクリエーション等の交流により、豊かな心と健康をはぐくみ、快適に暮らせるまちづくりの推進を目指します。

(4) 庶路・西庶路地域の整備方針

【土地利用】

- ・国道沿線は、スポーツ交流拠点の形成と併せて、商業施設・沿道サービス施設の立地誘導を図るとともに、社会情勢及び土地利用の動向を見ながら必要に応じて用途地域の見直しなどの検討を行なうなど、適切な土地利用の推進を図ります。
- ・庶路・西庶路の市街地は、自然と調和した良好な住宅地であることから、今後も現在の住環境を維持していきます。庶路地区の未利用地については、自然と調和した低層住宅地の形成をはじめ適切かつ有効な土地利用を検討します。
- ・西庶路地区の軽工業団地は、自然と調和した職住近接型の工業団地として、今後も周辺住宅地に配慮した工業系土地利用を維持するとともに、企業の立地誘導を推進します。
- ・旧庶路小学校移転に伴う跡地については工業振興の観点からの土地利用が望まれているほか、隣接する農業利用地の存続意向を踏まえ、用途地域の見直しや縮小等を検討していきます。

【交通】

- ・道道上庶路庶路停車場線（3・4・8下庶路通）は周辺土地利用の見直し検討にあわせ、老朽化した立体交差部の再整備や国道取り付け部のルート変更など安全性・円滑性の高い道路整備を要望・推進していきます。
- ・人口減少等の社会情勢の変化に対応したまちづくりや交通量等を勘案しながら、都市計画道路の計画的・効率的な整備や見直しを進めます。
- ・安全、快適な歩行空間を創出するため、主要な道路においては、歩道のバリアフリー化や緑化等の推進を図ります。
- ・日常生活や災害時の避難において重要な生活道路の交通機能の維持・向上を図ります。

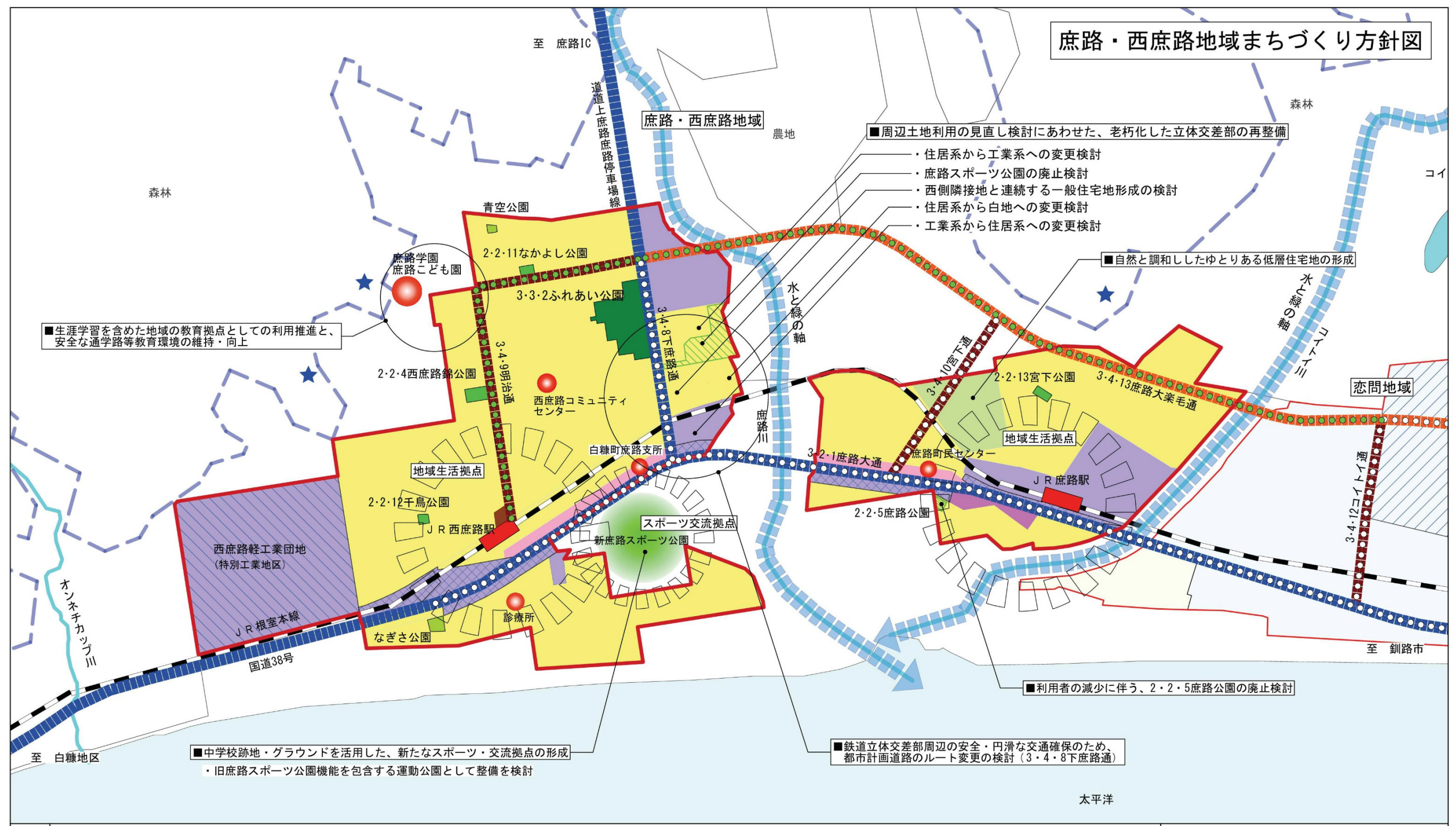
【公園緑地・上下水道等】

- ・西庶路地区では、道道上庶路庶路停車場線（3・4・8 下庶路通）の変更により庶路スポーツ公園を廃止し、国道沿線の旧庶路中学校跡地に新たに庶路スポーツ公園を配置し、スポーツ交流拠点として形成を図ります。
- ・街区公園として位置付けている2・2・5 庶路公園は、主たる利用者である庶路幼稚園の移転や、地域住民の人口減少による公園利用者の減少を受け、公園廃止の検討を行います。
- ・災害時の一時避難場所として指定されている公園は、周知徹底を図るとともに、避難機能の維持に努めます。
- ・庶路川やコイトイ川の河川空間や主要な道路空間等の緑を充実し、緑豊かで潤いのある水と緑のネットワークの形成に努めます。
- ・庶路川の河川改修を促進します。
- ・下水道に関しては、長寿命化計画等により整備を進め、一部の未整備エリアにおいては合併処理浄化槽の普及に努めます。
- ・上水道に関しては、配水管の整備を進めます。

【防災・公共公益施設等】

- ・各種災害の防災対策を推進するとともに、白糠町立庶路学園を中心として公共・公益施設、公園等の避難場所としての機能の維持・向上に努めます。
- ・特に津波災害時の避難場所については、避難路を含め、周知徹底を図ります。
- ・地域内の公共・公益施設は、白糠地域との連携の維持・充実により、利便性の確保・向上を目指します。また、施設の集約、統廃合について検討を行います。
- ・公共施設をはじめ市街地整備においては、木質バイオマスや太陽光等の再生可能エネルギーの導入促進により低炭素社会の実現を目指します。

庶路・西庶路地域まちづくり方針図



- 生涯学習を含めた地域の教育拠点としての利用推進と、安全な通学路等教育環境の維持・向上
- 周辺土地利用の見直し検討にあわせた、老朽化した立体交差点の再整備
 - ・住居系から工業系への変更検討
 - ・庶路スポーツ公園の廃止検討
 - ・西側隣接地と連続する一般住宅地形成の検討
 - ・住居系から白地への変更検討
 - ・工業系から住居系への変更検討
- 自然と調和したゆとりある低層住宅地の形成
- 利用者の減少に伴う、2・2・5庶路公園の廃止検討
- 中学校跡地・グラウンドを活用した、新たなスポーツ・交流拠点の形成
 - ・旧庶路スポーツ公園機能を包含する運動公園として整備を検討
- 鉄道立体交差点周辺の安全・円滑な交通確保のため、都市計画道路のルート変更の検討(3・4・8下庶路通)

| | | | | | |
|----|--|---|---|---|-----------------------|
| 凡例 | 【土地利用】 ■ 専用住宅地 ■ 一般住宅地 ■ 地域商業地 ■ 沿道商業地 ■ 一般工業地 | 【交通】 — 鉄道 ■■■■■ 主要幹線道路 ■■■■■ 幹線道路 ■■■■■ 補助幹線道路 | 【公園・緑地等】 ●●●●● 都市計画道路(整備済み) ○○○○○ 同上(未整備) ■■■■■ 近隣公園 ■■■■■ 街区公園 ■■■■■ その他都市公園 ■■■■■ 主な河川 | 【防災】 - - - 津波浸水想定区域 ★ 津波災害避難場所 【公共施設等】 ● 主な公共公益施設 | 太平洋 0 100 500m |
|----|--|---|---|---|-----------------------|

2-3. 恋問地域

恋問地域は、総面積約 340ha（釧路市含む）の釧路白糠工業団地があり、軽工業や食品加工業のほか太陽光等の電気事業など多くの企業が進出しています。また、団地のほぼ中央には恋問自然観察公園があり、その海岸沿いには道の駅しらぬか恋問が立地しています。

(1) 恋問地域の現状と課題

- 釧路白糠工業団地の白糠町域の工場用地には、町内外から、企業が進出しており、陸・海・空の三拍子そろった物流拠点として、現在の土地利用を維持するとともに、さらなる企業の集積と雇用の創出が望まれます。
- 西側のコイトイ川周辺地区は住居系の用途であり、国道 38 号(3・2・1 庶路大通)沿線の一部は住宅地を形成していますが、その他は未利用地が多い状況です。
- 恋問自然観察公園は、箱庭的な湿原を有しており、自然観察棟や木道が整備されています。
- 国道 38 号(3・2・1 庶路大通)沿いの道の駅しらぬか恋問は、白糠の海と山の特産品が並ぶ人気の道の駅で、町民及び観光客の交流の場、及び地域産業の活性化に寄与する拠点として、さらなる発展を目指すことが望まれます。
- 地域内の交通は既存道路によって確保されていますが、産業活動及び就労者の生活活動や避難活動において、より円滑・安全な交通の確保が望まれます。
- 国道 38 号(3・2・1 庶路大通)沿線の太平洋と恋問海岸の自然景観は、雄大で美しく、地域固有の景観資源として維持・活用を図ることが必要です。

(2) 恋問地域の基本方針

本町の産業活動拠点となる釧路白糠工業団地は、特別用途地区（特別工業地区）として指定されており、今後も環境保護に配慮しながら、陸・海・空の交通利便性や良質で低廉な工業用水を提供できる立地条件を生かし、企業誘致に努め、工業及び物流の拠点としてさらなる発展をめざし、適切かつ有効な土地利用の維持・推進を図ります。

数多くの湿原性の原生植物が生い茂る恋問自然観察公園は、自然環境の保全に努めるとともに、憩い・散策、自然学習の場としてさらなる利用を目指します。

道の駅しらぬか恋問（恋問館）は、道東の観光スポットとして定着しており、美しい海岸線を含め、町民・来訪者の交流拠点として魅力・集客力の維持・向上を図ります。

(3) 恋問地域の将来像

将来像を

『活力・躍動感に満ちた地域産業と自然が調和したまち』

と設定し、地域産業をけん引する工業・物流の拠点としてのさらなる発展と、海をはじめ周辺の自然環境の保全・活用、地域資源を活用したふれあい交流を促進するまちづくりを推進します。

(4) 恋問地域の整備方針

【土地利用】

- ・釧路白糖工業団地は、今後も積極的に企業誘致を推進し、産業活動拠点としての機能の充実を図るとともに、雇用の増大を目指します。
- ・コイトイ川周辺の住宅地内の未利用地は、現状の土地利用を基本に、社会情勢等を踏まえながら、適切かつ有効な土地利用について検討を進めます。

【交通】

- ・今後の土地利用の動向を踏まえながら、安全・円滑な地域交通の確保に向け、都市計画道路の整備を検討します。

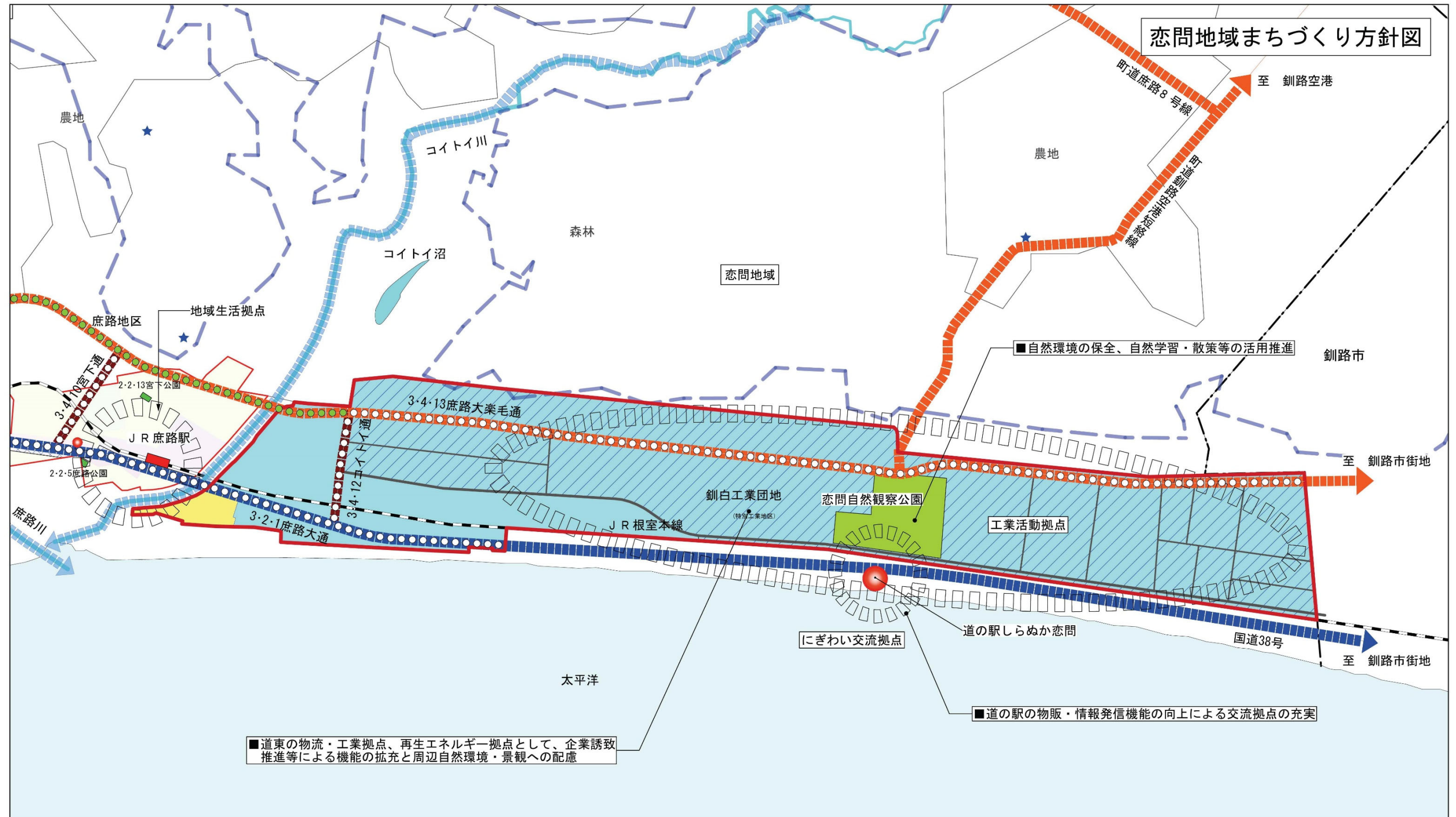
【公園緑地・上下水道等】

- ・恋問自然観察公園は、工業地に潤いを与える空間として、自然環境を保全するとともに、町民や来訪者をはじめ就労者等の散策や憩いの空間として、機能の維持・向上に努めます。
- ・下水道に関しては、長寿命化計画等により整備を検討するとともに、合併処理浄化槽の普及に努めます。
- ・上水道に関しては、釧路白糖工業団地内に工業用水道が整備され、水需要の減少により生じる滞留時間の増加に伴う水質の悪化が懸念されることから、更新時にダウンサイジングを検討する必要があります。

【防災・公共公益施設等】

- ・道の駅しらぬか恋問は、道東の観光スポットとしてさらなる賑わいを創出するため、各種特産品のPR活動や新商品開発等に取り組みます。
- ・市街地のほぼ全域が、津波浸水想定区域となることから、防災対策の推進を図るとともに、生活道路をはじめ避難路等の交通機能の維持・向上に努めます。

恋問地域まちづくり方針図



■道東の物流・工業拠点、再生エネルギー拠点として、企業誘致推進等による機能の拡充と周辺自然環境・景観への配慮

■自然環境の保全、自然学習・散策等の活用推進

■道の駅の物販・情報発信機能の向上による交流拠点の充実

| | | | | | | |
|--------|---|--|--|--|--|--------------------------------|
| 凡 例 | <p>【土地利用】</p> <p>■ 一般住宅地</p> <p>■ 専用工業地</p> | <p>【交通】</p> <p>— 鉄道</p> <p>■ 主要幹線道路</p> <p>■ 幹線道路</p> <p>■ 補助幹線道路</p> <p>— 工業団地内区画道路</p> | <p>●●●●●● 都市計画道路（整備済み）</p> <p>○●●●●○ 同上（未整備）</p> | <p>【公園・緑地等】</p> <p>■ 街区公園</p> <p>■ その他都市公園</p> <p>— 主な河川</p> | <p>【防災】</p> <p>- - - 津波浸水想定区域</p> <p>★ 津波災害避難場所</p> <p>【公共施設等】</p> <p>● 主な公共公益施設</p> | <p>0 100 200 300m</p> <p>N</p> |
|--------|---|--|--|--|--|--------------------------------|